

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和6年度 第6号
令和6年11月25日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL : 025-543-2729
FAX : 025-543-4150
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

すこやかネットワーク学力向上研修会

すこやかネットワークでは学力の向上において「小中学校9年間を見通したカリキュラムの編成を目指す」とことと「学力的な課題や授業改善の方向性を共有し確かな学力を育成する」ことを活動目標としています。具体的な取組で一番大事にしているのは授業力の向上です。各校でも教師としての資質能力、学校としての研究力を高めるために授業研究を行っていますが、学校間の授業研究交流会を実施することで、各校の研究や授業改善の取組について情報交換し自校の研究や自らの授業力に反映させることができます。

昨年度から他校との授業交流を再開して、お互いに授業を参観し合い、意見を交流することができています。今年度は、有田小学校の「子どもが主体的に学ぶ授業づくり」支援訪問に4小中学校の教員が参加して研修を行いました。

- ・期 日 令和6年6月17日(月)
- ・会 場 有田小学校
- ・内 容
 - ・研究授業参観 13:55～14:40
 - 2年3組 算数科「長さ(1)」
 - 3年1組 算数科「表とグラフ」
 - ・協議会 15:15～16:15
 - ・全体指導 16:15～16:25



有田小学校は、今年度「自分もみんなも大切にする子どもの育成」を研究主題とし、授業中の子どもの姿から「主体的に学ぶ子ども」とはどういう姿なのか、その主体性をどのようにして身に付けさせていくのかを実践を通して研究・研修しています。協議会・全体指導では、市教委学校教育課指導主事、高橋栄介様、萱森孝宏様からご指導をいただきました。参加者からは、児童の姿から授業を語るとともに、ICTの利活用などの情報交換を行い、小中学校の系統性を考えるうえで貴重な機会となりました。

北諏訪小学校の取組

北諏訪小学校では、自分の考えを豊かに表現する子をめざし、話す、聞く、書くを基に表現力を高める取組を行っています。

【トークタイム】

低中高学年で話し合うテーマに沿って、自分の考えを伝え合います。メモ用紙やタブレット端末を活用しながら考えをまとめたり、修正したりします。この活動を積み重ねたことにより、互いに意見を伝え合うことがスムーズになってきました。



【書くタイム】

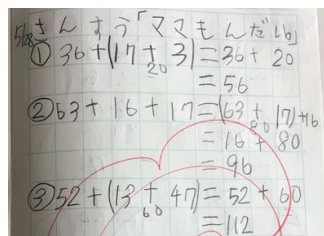
テーマを設定し、型に沿って書く方法や、自分にしか分からないその瞬間の心の動きを書き留める方法等、学年に応じて工夫しながら取り組んでいます。

いずれも、昼休みの後半15分の取組ですが、夢中で書き進めたり、話合いが続いたりする様子があります。



【自主学习、家庭学習をより充実させよう】

繰り返し取り組む学習だけでなく、自ら楽しんで家庭学習に取り組めるように、学年だより等で児童の発想を生かした自主学習の様子を紹介しています。



保倉小学校の取組

「子どもたちの豊かな学びのために」

毎日の授業を楽しく、分かりやすく、子どもたちが意欲的に学べるように、研修を行っています。

どうしたら一人ひとりの学びを成立させ、主体的に取り組めるようになるのか、授業者の手立ての工夫は欠かせません。保倉小では、お互いの授業力UPとともに、子どもたちへの有効な支援についての検証するため授業公開を行っています。

授業構想段階からたくさんの意見を出し合い、単元のねらいを達成するための工夫について話し合います。また授業公開後の協議会は大変活発に意見交換がなされます。参加者が協議会で得たものを自身でブラッシュアップしながら、子どもの豊かな学びのために授業改善に取り組んでいます。



授業ではペア学習やグループ学習を頻繁に取り入れ、子どもたちが、お互いを認めつつ、意見を再考する場としています。また、ICT機器については、子どもたちの学びに有効な活用の仕方を研修しています。子どもたちも授業はもちろん、委員会活動等でiPadを上手に使っています。



有田小学校の取組

今年度の研究主題は、昨年度と同じ「自分もみんなも大切にする子どもの育成」です。日々の授業や行事、児童会活動などで自分もみんなも大切にする姿とはどのような姿なのかを職員だけでなく、児童も一緒に考えながら教育活動に取り組んでいます。

○公開授業研究

今年度は、「子どもが主体的に学ぶ授業づくり」支援訪問に、他校の先生方からも参観していただきました。協議会では、授業中に子どもたちが学ぶ様子から「主体的に学ぶ子ども」とはどのような姿なのかを話し合いました。また、話し合いの中で先生方の実践なども意見交換することができ、有意義な研修となりました。様々な意見を聞くことで新しい視点が増えました。日々の授業実践に役立てていきたいです。

○スタディ&メディアコントロールウィーク

各学期に1回実施しています。今年度は、望ましいメディアとの付き合い方ができるように、親子でめあてを相談しながら、家庭での生活習慣を見直すことに取り組んでいます。また養護教諭とも連携し、iPadを家庭に持ち帰り、親子で「けんこうの日」の振り返りを行いました。子どもたち一人ひとりがメディアとの付き合い方を見直し、適切な使用ができるように働きかけていきます。

○ICTを活用した授業

ほとんどの学級でICT機器を使った授業を行っています。授業では、教師が学習課題や資料を提示するだけでなく、児童が授業で活用する機会も増えてきました。具体的には、Google Classroomを使って児童の意見を可視化したり、授業のスライドをグループで作成したりするなどです。今後も、児童がICTを効果的に活用できる授業づくりに努めていきます。

春日新田小学校の取組

当校は、今年度も「認め合い進んで学び合う子どもの育成～ステーション授業構想による集団づくり～」を研究主題として校内研修を進めています。

○「かかわり方スキル」を活用した授業づくり

研究主題に迫るために、道徳や学級活動で、児童が「かかわり方スキル」を学ぶことで、協働的な学びの土台となる「良好な関係」を培うことができるようにしています。また、各教科でスキルを使った交流場面を設定したり、学校生活の中で使うようにしたりしながらスキル定着を図っています。そして、教師から児童、または、児童同士による「肯定的フィードバック」によって、自他の承認感を高めるようにしています。また、全職員で授業研究・協議会を行い、見取った児童の様子から、主体的に学ぶ姿や学びの深まりなど、目指す子どもの姿が具現できていたかどうか等について協議しています。児童の学びを確かなものにするともに、教師の授業改善に取り組んでいます。



○学力テストの分析

【5年生公開授業の様子】

学力テストや学習指導改善調査の分析を全職員で行い、児童の傾向を把握し、2学期以降に重点単元として設定したり、自学級や持ち授業の指導に生かしたりしました。「継続性」をキーワードにして、年間を通して指導を進めています。

○「スタディ&アウトメディアウィーク」の実施

年間に3回実施しています。一人一人がめあてを立てて取り組み、課題を選択したり、自分で考えたりしながら学習に取り組むようにしています。また、過ごし方を工夫することで、メディアと上手に付き合えるように働きかけています。

○上越教育大学 赤坂研究室とのかかわり

今年度も、上越教育大学の赤坂教授をはじめ、大学院生が来校し、当校職員の授業を支援したり、当校の研究に関して肯定的に意味付けを行ったりしてくださっています。

その結果、職員が研究主題を意識した授業づくりを行うことにつながっています。また、肯定的に評価していただけることで、授業づくりに関するモチベーションの向上につながっています。

直江津東中学校の取組

本年度、当校では昨年度からの継続の取組として、「認め合う、深め合う、高め合う」をキーワードとした各種教育活動を展開しています。

○認め合う集団づくり

よりよい人間関係をつくるために、生徒が主体となって活動する場面を意図的に設定しています。行事や学校生活の中で、気持ちを伝えたり、互いに認め合ったりする活動を通して、互いの信頼関係を深めることを目指しています。また、学校適応感を調べる「アセス」アンケートを継続して行い、一人一人の生徒の様子を見取りながら望ましい人間関係づくりに生かしています。

○学び合いのある授業づくり

ペア、小グループによる話し合い活動を通して、話し合いのスキルアップを図っています。



自分の考えをもち、仲間と意見を交わしながら、より深い学びを目指しています。また、上越教育大学大学院学校支援プロジェクト事業を有効活用し、授業後のリフレクションや授業内容のアドバイス、新たな提案など、大学院生との意見交流を活発に行い、そこでの気づきや発見を授業づくりに生かしています。

○学習の雰囲気づくり

本年度も、学習委員会が学級の実態に応じて「学習の約束七か条」の中から、重点項目を設定し、学級への呼びかけを行いました。今後は、黒板クリーナーの清掃、机やロッカーの整理整頓、チョーク補充など学習環境を整えるための活動も展開していきます。また、定期テストに向けての学習時間調査、メディア使用時間調査も行い、定期テストに向けて学習に力を入れる雰囲気づくりを継続していきます。

秋のあいさつ運動 ありがとうございました。

9月の「秋のあいさつ運動」のアンケート結果です。下記の質問には44名の方々から回答をいただきました。多くのご協力に感謝しております。

1 立哨中に出会った大人の方とあいさつを交わしましたか

ア 交わした	34
イ 交わしたり交わさなかったりした	9
ウ 交わさなかった	1
無回答	0

2 立哨中に児童生徒に自分の方からあいさつをしましたか

ア 自分から先にした	27
イ 自分からしたり相手が先にしたりした	16
ウ 相手が先にした	1
無回答	0

3 期間中家庭内であいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	18
イ 自分からしたり相手が先にしたりした	23
ウ 相手が先にした	2
無回答	1

回答件数 44 件

いただいたアンケートの中から（抜粋）

- 最近是小・中学生からあいさつされる機会が多くなりました。
- 町内に小・中学生が何人いるのか確認するためにも必要な運動だと思います。
- 遅れて来る子はいなく、全員そろって登校していた。
- 中学生はしっかりヘルメットをかぶり全員がしっかりあいさつができていた。
- 子供に限らず、大人も子供に対して挨拶をされていてよかった。
- 元気になるので続けて欲しい。

大人が子どもたちの手本となる取組にしていきたいものです。

<直江津東地域青少年育成会議 地域部会>